

認知症への理解を深める  
新たな研修プログラム



「ねりまコンビニ協働プロジェクト」  
キャラクター

N-ico (ニコ)

のご紹介

【提供団体】ねりまコンビニ協働プロジェクト

詳細はこちら



ホームページ



facebook

## 「N-impro (ニンプロ)」って？

今や区内に230店以上あり、高齢者の生活に欠かせない役割を果たしているコンビニエンスストア。

「ねりまコンビニ協働プロジェクト」は、コンビニを地域高齢者を見守る拠点とすることを目的し、高齢者への対応力を高める研修プログラムを開発しました。

「認知症かどうか分からないけど、言動が気になる方にどう対応したらいいんだろう？」など、

日頃からお客さんと接するコンビニ従業員の立場となって、高齢者への対応で判断が難しいシチュエーションを想定し解決策を考える、参加型ゲーム形式のワークショップです。

平成30年3月にプログラムを開発。今後は、区内コンビニはじめ医療・介護・福祉の専門職とともに、地域でプログラムの普及を図り、全国初の取り組みを推進していきます。



N-impro体験会の様子

高齢者への対応で  
判断に悩む事例を抽出



あなたは コンビニアルバイト	あなたは コンビニアルバイト
<p>日中、「今から認知症の兄がお弁当を買いに行くのでよろしくお願ひします」との電話。20分後、それらしき男性が来店したが確信は無い。新聞をレジに持ってきた。</p>	<p>70代くらいのおばあさんが商品のおにぎりを取って、そのまま店内のイトインで食べ始めた。会計を済ますように促したが「買ったものだ」と主張する。</p>
<p>Q お弁当を買わなくてよいか確かめる？</p> <p>Yes 確かめる No 確かめない</p>	<p>Q 警察に連絡する？</p> <p>Yes 連絡する No 連絡しない</p>

高齢者への対応力向上

## N-improを体験してみたい図書館を大募集！！

「N-improを体験してみたい！」という図書館は、  
ぜひ一度下記までお問い合わせを(^o^)/

お問い合わせ

練馬区 地域文化部 協働推進課

〒176-0001 練馬区練馬1-17-1 ココネリ 3階 (区民協働交流センター内)

電話：03-6759-9119 メール：KYODOSUISHIN@city.nerima.tokyo.jp

コンビニにおける事例ですが、  
図書館の窓口対応にも応用で  
きる内容になっています。  
ぜひご検討ください。